

第3次国立大学法人等 施設整備5か年計画

計画的・重点的な施設整備の 基本的考え方

○Strategy

質的向上への戦略的整備

高度化・多様化する教育研究活動が活性化し、各法人の強み・特色が最大限発揮される教育研究環境の確保

○Sustainability

地球環境に配慮した教育研究環境の実現

地球環境への負荷が少なく持続的な発展を可能とする、教育研究環境の確保

○Safety

安全な教育研究環境の確保

学生の安全確保だけでなく、災害時における地域住民の応急避難場所、地域の拠点病院等の役割を果たす教育研究環境の確保

計画的・重点的な施設整備

老朽改善整備 (400万㎡)

・防災機能強化、教育研究基盤としての質の確保

狭隘解消整備 (80万㎡)

・教育研究の高度化・多様化に伴い必要となるスペースの確保

大学附属病院の再生 (70万㎡)

・再開発整備の着実な実施、最先端医療・地域医療への対応

計画的・重点的な施設整備を 支える取組

○キャンパスマスタープランの策定・充実

今後の施設整備をより効果的・効率的に実施し、各法人が使命と役割を着実に果たすため、長期的視点に立ったキャンパス全体の整備計画を策定・充実

○システム改革の推進

- ・施設マネジメントの推進
既存施設の有効活用や良好な維持管理の実施
- ・多様な財源を活用した施設整備の推進
地方公共団体や他省庁、企業等の連携による施設整備の実施

計画的・重点的な施設整備の整備実績 (平成23年度)

	施設整備費補助金による整備	多様な財源を活用した整備	累計
老朽改善整備(進捗率)	36.5万㎡	3.1万㎡	39.6万㎡(9.9%)



	施設整備費補助金による整備	多様な財源を活用した整備	累計
狭隘解消整備(進捗率)	6.6万㎡	7.9万㎡	14.5万㎡(18.1%)



	施設整備費補助金による整備	多様な財源を活用した整備	累計
大学附属病院の再生(進捗率)	11.7万㎡	2.6万㎡	14.3万㎡(20.4%)



〈キャンパスマスタープランの策定〉 〈多様な財源を活用した整備〉



九州工業大学
(平成24年3月策定)



京都工芸繊維大学ノートルダム館



大分大学ノ救命救急センター

成果・効果

Strategy ~質的向上への戦略的整備~

(成果目標) 戦略的な施設整備により、教育研究環境の質を向上する。

個別目標	指標	実績	累計
卓越した教育研究拠点の形成	拠点施設の整備(10拠点/年)※1	4拠点	4拠点
大学附属病院機能の充実			
高度先進医療への対応	診療棟の整備(7事業/年)※1	7事業※2	7事業※2
入院患者の居住環境改善	病棟の整備(4事業/年)※1	6事業※2	6事業※2
大学の機能強化・機能別分化への対応	既存施設の質的向上	131事業(41.5万㎡)	131事業(41.5万㎡)

※1 ()は第2次国立大学等施設緊急整備5か年計画の年間整備実績。

※2 複合型(病棟+中診療)の整備事業(1事業)は各項目に重複計上。

Sustainability ~地球環境に配慮した教育研究環境の実現~

(成果目標) 地球環境に配慮した教育研究環境を実現する。

個別目標	指標	実績	累計
省エネルギー等の推進	エコ再生実施事業数※3	131事業	131事業
	再生可能エネルギー導入※4	36台(979kW相当)	36台(979kW相当)

※3 高効率照明・空調設備の導入や断熱材などを含む老朽改善整備事業数。

※4 当該年度に設置された太陽光発電設備、風力発電設備の台数及び公称出力。

Safety ~安全な教育研究環境の確保~

(成果目標) 安全な教育研究環境を確保する。

個別目標	指標	実績
建物の耐震化(平成27年度までに完了)	耐震化率	89.3%
老朽施設の割合の減少	全保有面積のうち建築後25年が経過し、改修を要する老朽施設の割合(平成22年度 37.2%)	35.4%

個別目標	指標	実績
キャンパスマスタープランの策定・充実		
計画的な施設整備の推進	キャンパスマスタープランの策定率	94.5%

個別目標	指標	実績
システム改革の推進		
施設マネジメントの推進	修繕費を含めた中長期的な修繕計画の策定	98.9%
	建物別エネルギー消費量の把握・公表	97.8%